

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 インテージホールディングス  
コード番号 4326 URL <http://www.intageholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮首 賢治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 池谷 憲司

TEL 03-5294-7411

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	9,857	5.7	492	22.3	481	15.1	307	27.9
28年3月期第1四半期	9,327	1.6	402	48.2	418	69.8	240	△84.0

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 344百万円 (9.6%) 28年3月期第1四半期 314百万円 (△79.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	15.42	—
28年3月期第1四半期	12.06	—

(注) 1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、役員向け株式給付信託として保有する当社株式を含めておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	35,847	21,048	58.2
28年3月期	36,830	21,338	57.5

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 20,877百万円 28年3月期 21,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	32.50	32.50
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,000	8.1	1,400	6.1	1,350	1.2	850	20.6	42.58
通期	48,000	5.5	4,200	8.2	4,250	7.7	2,650	13.9	132.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	20,118,000 株	28年3月期	20,118,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	156,128 株	28年3月期	156,128 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	19,961,872 株	28年3月期1Q	19,958,248 株

(注)期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、役員向け株式給付信託として保有する当社株式を含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日)におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策を背景として企業部門・家計部門ともに緩やかな回復基調となりました。

一方、海外経済は、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化や、英国のEU離脱問題に伴って外国為替市場において円高が進行するなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高9,857百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益492百万円(同22.3%増)、経常利益481百万円(同15.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は307百万円(同27.9%増)となりました。

事業分野別の状況は次のとおりであります。

#### ① マーケティング支援(消費財・サービス)事業

マーケティング支援(消費財・サービス)事業は、カスタムリサーチの既存調査及びインターネット調査が好調に推移したことなどにより売上高・営業利益ともに前年を上回り、増収増益となりました。

この結果、マーケティング支援(消費財・サービス)事業の連結業績は、売上高6,284百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益136百万円(同156.5%増)となりました。

#### ② マーケティング支援(ヘルスケア)事業

マーケティング支援(ヘルスケア)事業は、株式会社アンテリオにおけるカスタムリサーチの既存調査及びプロモーション活動の評価サービスや、株式会社アスクレップにおける医薬品の製造販売後調査が好調に推移したことなどにより、売上高は前年を上回りました。一方、営業利益においては、株式会社アンテリオのオフィス移転に伴う費用増加の影響により、増収減益となりました。

この結果、マーケティング支援(ヘルスケア)事業の連結業績は、売上高2,439百万円(前年同期比10.1%増)、営業利益は313百万円(同8.8%減)となりました。

#### ③ ビジネスインテリジェンス事業

ビジネスインテリジェンス事業は、旅行業界をはじめとするCG&S(※)及びヘルスケア業界において案件の受注が堅調に推移したことにより、増収増益となりました。

この結果、ビジネスインテリジェンス事業の連結業績は、売上高1,133百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益42百万円(同676.8%増)となりました。

※CG&S…Consumer goods and serviceの略で、消費財&サービスのこと

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,035百万円減少し、23,237百万円となりました。これは、現金及び預金が1,082百万円、仕掛品が815百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が3,264百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ52百万円増加し、12,609百万円となりました。これは、建物及び構築物(純額)が56百万円、リース資産(純額)が46百万円、繰延税金資産が57百万円減少したものの、投資有価証券が203百万円、退職給付に係る資産が58百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は983百万円減少し、35,847百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ682百万円減少し、11,203百万円となりました。これは、未払法人税等が830百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ10百万円減少し、3,595百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が30百万円増加したものの、リース債務が45百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は693百万円減少し、14,798百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ289百万円減少し、21,048百万円となりました。これは、利益剰余金が345百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月12日付「平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

※ 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

当社及び連結子会社は、税金費用については、当第1四半期連結会期期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、重要な加減算項目を加味し、法定実効税率を使用して計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (税制改正に係る減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

#### (税金費用の計算方法の変更)

従来、税金費用については年度決算と同様の方法により計算しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用したことから、四半期決算に迅速かつ効率的に対応するため、当第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,823,074	10,905,494
受取手形及び売掛金	10,640,278	7,375,590
仕掛品	1,240,768	2,055,996
貯蔵品	49,388	56,150
繰延税金資産	1,102,337	1,144,718
その他	1,423,208	1,704,591
貸倒引当金	△5,529	△4,543
流動資産合計	24,273,526	23,237,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,792,241	1,735,973
器具備品(純額)	390,307	363,512
土地	1,998,156	1,998,156
リース資産(純額)	786,053	739,704
その他(純額)	0	0
有形固定資産合計	4,966,758	4,837,347
無形固定資産		
のれん	336,189	301,383
その他	1,520,979	1,534,105
無形固定資産合計	1,857,169	1,835,488
投資その他の資産		
投資有価証券	2,211,178	2,414,979
繰延税金資産	755,102	697,391
退職給付に係る資産	1,296,852	1,355,682
その他	1,469,868	1,468,457
貸倒引当金	△298	△298
投資その他の資産合計	5,732,703	5,936,212
固定資産合計	12,556,631	12,609,048
資産合計	36,830,158	35,847,046

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,693,644	2,059,789
短期借入金	2,354,654	2,384,920
リース債務	307,607	303,151
未払法人税等	1,147,603	317,103
賞与引当金	1,640,443	823,401
ポイント引当金	1,113,075	1,140,935
役員賞与引当金	10,500	2,634
株式給付引当金	1,969	—
その他	2,616,366	4,171,206
流動負債合計	11,885,865	11,203,141
固定負債		
長期借入金	200,000	200,000
リース債務	555,935	510,545
株式給付引当金	49,674	48,499
退職給付に係る負債	2,797,218	2,827,293
その他	3,250	8,821
固定負債合計	3,606,078	3,595,160
負債合計	15,491,944	14,798,301
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,681,400	1,681,400
資本剰余金	1,336,688	1,336,599
利益剰余金	17,433,240	17,087,328
自己株式	△216,441	△216,441
株主資本合計	20,234,886	19,888,887
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	284,158	414,251
為替換算調整勘定	464,569	389,051
退職給付に係る調整累計額	179,378	185,214
その他の包括利益累計額合計	928,106	988,517
非支配株主持分	175,220	171,340
純資産合計	21,338,213	21,048,745
負債純資産合計	36,830,158	35,847,046



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	9,327,894	9,857,077
売上原価	7,007,750	7,199,340
売上総利益	2,320,144	2,657,736
販売費及び一般管理費	1,917,745	2,165,480
営業利益	402,398	492,256
営業外収益		
受取利息	2,003	579
受取配当金	30,915	35,954
その他	22,287	5,650
営業外収益合計	55,207	42,184
営業外費用		
支払利息	4,073	7,175
持分法による投資損失	33,369	9,169
為替差損	—	34,297
その他	2,124	2,486
営業外費用合計	39,567	53,129
経常利益	418,037	481,311
税金等調整前四半期純利益	418,037	481,311
法人税等	183,379	186,823
四半期純利益	234,658	294,487
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,953	△13,271
親会社株主に帰属する四半期純利益	240,612	307,758

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	234,658	294,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83,029	130,093
為替換算調整勘定	△4,703	△85,789
退職給付に係る調整額	1,386	5,836
その他の包括利益合計	79,712	50,139
四半期包括利益	314,370	344,627
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	323,601	368,169
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,231	△23,542

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)
	マーケティング支援 (消費財・サービス) (千円)	マーケティング支援 (ヘルスケア) (千円)	ビジネス インテリジェンス (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	6,022,438	2,214,961	1,090,493	9,327,894
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	6,022,438	2,214,961	1,090,493	9,327,894
セグメント利益	53,121	343,815	5,461	402,398

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)
	マーケティング支援 (消費財・サービス) (千円)	マーケティング支援 (ヘルスケア) (千円)	ビジネス インテリジェンス (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	6,284,625	2,439,211	1,133,240	9,857,077
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	6,284,625	2,439,211	1,133,240	9,857,077
セグメント利益	136,257	313,570	42,428	492,256

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。